

昭和三十七年九月二十一日

一七五IABC

トヨタ自動車、新型クラウンを発表

トヨタ自動車販売協会は九月二十一日、かねてから注目されていた新型トヨベツト・クラウン、同デラックス及び同カスタムの三車種を発表した。

新型車は、八年近く国産乗用車の代表的地位にあつたクラウンのモデル・チェンジにふさわしく、スタイル、大きさ、乗心地、高性能などを全面的に刷新向上しており、貿易の自由化を目指す同社の自信を示すものとして、また今後のマーケット・シェアに大巾な変動をもたらすものとして注目される。

新型車の主な特長は

(1) より低くより長くと云う世界の傾向をとり入れ全高を七〇ミリ下げるとともに全長を二〇〇ミリ延長し、直線を活かした国際感覚の斬新なデザインを施したこと。

(2) ホイール・ベースを一六〇ミリ延長し、前後サスペンションとシート・クッションの改良、新機軸のボデー・マウンテイングなどによつて乗心地を一段と向上させたこと。

(3) レッグ・ルームを一二〇ミリひろげ窓面積を大巾に拡大して室内の居住性を一段と快適且つ豪華なものにしたこと。

(4) 重心を下げ空気抵抗を少くして高速安定性能の向上に役立てるとともに、潤滑、冷却機構を改良して長時間の高速連続運転を容易にしたこと。

(5) X型フレームとモノコック・ボデーをマウント・ゴムによつて結合した堅ろうなボデー構造を採用し、悪路での酷使にも充分堪えうる耐久性をもたせたこと。

(6) 低速時でも充電性能の高い交流発電機（オルタネーター）、路面からのショックを吸収するツィ・ジョイントのステアリングシャフト、耐久力にすぐれ踏力の軽いダイヤフラム型クラッチなど各部に数多くの新機軸を採用し、操縦性や安全性をたかめたこと。

(7) ボデー・カラーに本格的な色彩研究を払いトヨタ独自の一貫した色彩傾向に流行性を加味したオプ・ブラックス系の新色を選ぶ



主なる仕様

車名式	クラウン・スタンダード	クラウン・デラックス	クラウン・カスタム
	RS40	RS41	RS46G
全長	4,610	4,610	4,690
全巾	1,695	1,695	1,695
全高	1,460	1,460	1,470
ホイールベース	2,690	2,690	2,690
トレッド 前	1,360	1,360	1,360
トレッド 后	1,380	1,380	1,380
最低地上高	185	185	185
客室内長	1,820	1,820	2,785
巾	1,430	1,430	1,430
高	1,090	1,090	1,120
車輻重	1,235	1,265	1,350
乗車定員	6	6	6
車輻総重量	1,565	1,595	1,680
最高速度	140	140	140
登坂能力	0.33	0.36	0.34
最小回転半径	5.5	5.5	5.5
型式	3R-B	3R	3R
総排気量	1,897	1,897	1,897
最高出力	80/4,600	90/5,000	90/5,000
燃料タンク容量	50	50	48
前輪懸架装置	ウイツシユポーン コイルばね	ウイツシユポーン コイルばね	ウイツシユポーン コイルばね
后輪懸架装置	半楕円非対称 板ばね	トレーリング・リンク コイル・ばね	半楕円非対称 板ばね
タイヤ 前	7.00-13-4P	7.00-13-4P	7.00-13-6P
タイヤ 后	7.00-13-4P	7.00-13-4P	7.00-13-6P

クラウン	クラウン・デラックス	クラウン・カスタム	トヨグライド付	トヨグライド付	トヨグライド付
一、一四〇	一、〇八〇	八九五	八三〇	八三〇	一、〇五〇
一、一五二	一、〇九二	八九五	八三〇	八三〇	一、〇五〇
一、一四七	一、〇八七	八九一	八二六	八二六	一、〇四五
一、二〇六	一、一四六	九八七	九二二	九二二	一、一八二
一、一八二	一、一二二	九二七	八六二	八六二	一、〇八三

価格 単位千円

註 何れも標準タイヤ、工具付、店頭渡し、現金価格

とにも塗料も光沢と持続性にすぐれたメタリック系を採用してあること。

(8) イーजी・ドライブ時代に即応し、3車種、いずれにも自動変速装置「トヨグライド」を装備できること。

などである。

なお、新発売のクラウン・カスタムは、クラウン・デラックスをベースにした六人乗りの最高級ステーション・ワゴン。

発表は何れも十月一日から全国一斉に開始される。

価格及び主な仕様は次の通り。

